

業績

著作

() 内は共著・共同演者

西棟 5 階リハビリテーション課

<執筆>

1. 小村英明:大腿骨近位部骨折後の術後リハビリテーション,臨床整形外科 Vol.59 No.5 増大号,651-55,医学書院,2024年5月25日,東京都

学術論文

西棟リハビリテーション課

<原著論文>

1. 下田啓介:発症早期から長下肢装具を使用し歩行練習を中心とした理学療法により杖歩行を獲得した被殻出血の一例,50-55,(公社)鹿児島県理学療法士協会,2024年8月1日,鹿児島市
2. 久米康隆:発症早期から長下肢装具を使用し歩行練習を中心とした理学療法により杖歩行を獲得した被殻出血の一例,50-55,(公社)鹿児島県理学療法士協会,2024年8月1日,鹿児島市・オンライン

西棟 2 階リハビリテーション課

<原著論文>

1. 田野尻唯:発症早期から長下肢装具を使用し歩行練習を中心とした理学療法により杖歩行を獲得した被殻出血の一例,50-55,(公社)鹿児島県理学療法士協会,2024年8月1日,鹿児島市

学会・講演会・研究会・研修会・セミナー等

リハビリテーション課

<口演>

1. 上山洋志(竹下聖将,栗ヶ窪亮,福地泉紀,佛山詩織,矢野竜聖,向井義博,石原博文):症候性海綿状血管奇形における高次脳機能障害の検討,第39回鹿児島高次脳機能研究会,2024年4月26日,鹿児島市
2. 栗野達成(門前佑之輔,見越賢一,山下大輔,杉安直樹,白木信義,生駒成亨,西中川剛):急性期頭部外傷患者を対象とした呼吸器合併症を発生する因子の検討について,第3回日本老年療学会学術集会,2024年8月3-4日,札幌市
3. 熊倉真理:両側反回神経麻痺後、嚥下は確立したが気管カニューレ抜管に至らなかった症例,第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学術集会,2024年8月30-31日,福岡市
4. 横山諒(渡辺将平,花北悠利,山之内崇浩,福満圭祐,純浦葵,西中川剛):椎体骨折患者における呼吸器合併症の関係因子のカットオフ値の検討,第12回日本運動器理学療法学会学術集会,2024年9-14-15日,横浜市
5. 西村優香:疼痛に対してアプローチを実施し歩行獲得に至った第12胸椎椎体骨折患者の一例,鹿児島地区症例検討会,2024年9月6日,鹿児島(web)
6. 岩切裕太:圧迫障害による腓骨神経麻痺を呈した症例,鹿児島地区症例検討会,2024年9月20日,鹿児島(web)
7. 田口一精(山下大輔,杉安直樹):脳卒中急性期患者における誤嚥性肺炎合併の関連因子,第22回日本神経理学療法学会学術集会,2024年9月28-29日,福岡市

8. 正野星也:脛骨高原骨折を受傷した症例,鹿児島地区症例検討会,2024年10月11日,鹿児島(web)
9. 平田拓弥:左原発性膝関節症に対して左TKA後、歩行時にSKGが定着していた症例の歩行分析および考察について,鹿児島地区症例検討会,2024年10月11日,鹿児島(web)
10. 西村大輝:上腕骨遠位端開放骨折の術後の要因分析と理学療法効果,鹿児島地区症例検討会,2024年10月25日,鹿児島(web)
11. 藤崎正義:左人工膝関節全置換術後に膝蓋骨置換術を施行した症例,鹿児島地区症例検討会,2024年12月6日,鹿児島(web)
12. 松下大也:脳梗塞患者の意識レベル向上に向けた理学療法 -上行性網様体賦活系に着目して-,鹿児島地区症例検討会,2024年12月20日,鹿児島(web)
13. 中村俊介(下田啓介,久米康隆):大腿骨近位部骨折術後患者における当院退院時の歩行自立の可否に影響を与える要因の検討,第38回鹿児島県理学療法士学会,2025年2月9日,鹿児島市

<ポスター>

1. 有村裕(下田啓介,久米康隆):第7頸髄完全損傷を呈した外国人技能実習生の退院支援の経験,第22回日本神経理学療法学会学術集会,2024年9月28-29日,福岡市
2. 辻井涼(中野宏治):課題指向型アプローチを導入し食事動作における麻痺側上肢の主體的参加が可能となった急性期脳梗塞の一症例,第33回鹿児島県作業療法学会,2024年11月7-8日,鹿児島市
3. 山里和也(小村英明,松下弘毅):当院における人工膝関節周囲骨折術後患者の膝関節屈曲関節可動域に影響を与える因子の検討,第38回鹿児島県理学療法士学会,2025年2月9日,鹿児島市
4. 下田啓介:【一般演題(ポスター)D 周術期管理・コマネジメント】大腿骨近位部骨折後の腓骨神経麻痺の発生状況の調査,第12回日本脆弱性骨折ネットワーク学術集会,2025年3月7-8日,北九州市
5. 下田啓介(宮内祐美,木山枝理香,新屋敷有紀,長谷亨):大腿骨近位部骨折後の腓骨神経麻痺の発生状況の調査,第12回日本脆弱性骨折ネットワーク学術集会,2025年3月7-8日,北九州市
6. 桑木陸杜(高巢暉子,佛山詩織,石原慎人):当院で経験したワレンベルグ症候群の3症例～嚥下障害の傾向～,第13回日本言語聴覚士協会九州地区学術集会鹿児島大会,2025年3月22日,鹿児島市

<座長・司会・シンポジスト・パネリスト等>

[座長]

1. 杉安直樹:【セッション口述17 骨関節・脊髄5】,九州理学療法士学術大会2024in佐賀,2024年11月9-10日,佐賀市
2. 杉安直樹:一般演題発表 口述 セッション2,第38回鹿児島県理学療法士学会,2025年2月9日,鹿児島市
3. 純浦葵:一般演題発表 ポスター,第38回鹿児島県理学療法士学会,2025年2月9日,鹿児島市
4. 熊倉真理:特別講演「STにとっての専門性:失語症から発達性ディスレクシアの臨床」,第13回日本言語聴覚士協会九州地区学術集会鹿児島大会,2025年3月23日,鹿児島市